

令和3年第11回

湯梨浜町教育委員会定例会

会 議 録

令和3年第11回湯梨浜町教育委員会定例会議録

日 時 令和3年9月30日(木)午後1時30分 開 会
場 所 湯梨浜町役場 第3会議室
出席委員 山田直樹 市橋善則 青木由紀子 松田基宏 藏本知純
説明の為出席した者 山田志伸 吉野和男 尾川伸弘 池田豊具 宮脇一善
尾崎寿彦 岸田和久 松本 真

【議事日程】

日程第1 会議録署名委員の指名

() ()

日程第2 事務局課長の報告

- (1) 教科補充に係る非常勤講師の任用について
- (2) 教職員の辞職について
- (3) 臨時的任用職員(定数内講師)の任用について
- (4) 臨時的任用職員(県費負担教職員)の期間更新について
- (5) 湯梨浜町会計年度任用職員(町雇用)の退職及び任用について
- (6) その他

日程第3 議案第56号 湯梨浜町コミュニティ・スクール推進協議会要綱の制定について

日程第4 議案第57号 外国語指導助手(ALT)の任命について

日程第5 協議事項

- (1) 令和3年度第1回湯梨浜町総合教育会議について
- (2) その他

日程第6 報告連絡事項

- (1) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 旧東郷中学校・東郷学校給食センターの物品販売会について
- (3) 旧北浜中学校校舎等解体工事について
- (4) 泊分館建設事業について
- (5) 公民館事業について
- (6) 図書館事業について
- (7) 問題行動・不登校について
- (8) その他

次回教育委員会 10月 日() 時 分～

発言者	内 容
教育長	日程第2 事務局課長の報告 (1) 教科補充に係る非常勤講師の任用についてから、(3) 臨時的任用職員(定数内講師)の任用についてまで、関連する報告になりますので併せて説明をお願いします。
教総課長	(資料にもとづき、教科補充に係る非常勤講師の任用について、教職員の辞職について、臨時的任用職員(定数内講師)の任用について説明)
教育長	何か質問はありますか。 (なし)
教育長	それでは、(4) 臨時的任用職員(県費負担教職員)の期間更新についてお願いします。
教総課長	(資料にもとづき、臨時的任用職員(県費負担教職員)の期間更新について説明)
教育長	何か質問はありますか。 (なし)
教育長	それでは、(5) 湯梨浜町会計年度任用職員(町雇用)の退職及び任用についてお願いします。
教総課長	(資料にもとづき、湯梨浜町会計年度任用職員(町雇用)の退職及び任用について説明)
教育長	何か質問はありますか。 (なし)
教育長	(6) その他で何かございますか。
尾崎補佐	ありません。
教育長	それでは、日程第3 議案第56号 湯梨浜町コミュニティ・スクール推進協議会要綱の制定についてお願いします。
教総課長	(資料にもとづき、湯梨浜町コミュニティ・スクール推進協議会要綱の制定について説明)
教育長	何か質問はありますか。 (なし)
教育長	それでは、日程第4 議案第57号 外国語指導助手(ALT)の任命についてお願いします。
教総課長	(資料にもとづき、外国語指導助手(ALT)の任命について説明)
教育長	何か質問はありますか。 (なし)
教育長	それでは、日程第5 協議事項(1) 令和3年度第1回湯梨浜町総合教育会議についてお願いします。まず①学校施設の改修についてお願いします。
教総課長	(資料にもとづき、①学校施設の改修について説明)
教育長	何か質問はありますか。
市橋委員	羽合小の増改築についてですが、新しく建てられるとなると10年あるいは15年先の児童・生徒数を見越して設計されると思いますが、この資料では令和6年度までの推移しか書いてあり

発言者	内 容
教総課長	<p>ません。令和7年度以降において、また教室が足らなくなるといったことはありますか。</p> <p>今のところの見立てでは、令和6年度が1つのピークになると考えていますが、なかなか予想しにくいのが特別支援学級がどのくらいになるのかと、近年、特に羽合地域は住宅建築が盛んなところで建築当初の想定を上回る児童数となっていて、平成27年には増築を行いました。しかし、これでも今後教室が足らなくなることが見込まれるため、さらに増築が必要ではないかと考えています。ただ、補助金のこともありますので、どこまで教室を作るかは現在検討中です。</p>
市橋委員 教総課長	<p>令和6年度の状況でしばらく続くのであればいいのですが。あくまでも今の人口による推計でして、今後転入などが増えると想定が変わり見込みにくい状況ですが、補助金申請においては、きちんとしたデータを整理しておく必要があります。</p>
市橋委員 教育長	<p>令和7年度以降の児童数は把握されていますか。</p> <p>現状における見込みは把握していますが、アパートなどの建設もあって増えてきているので、これからどれだけ増えるのかまでは見通せないところです。また、特別支援学級がどうなるのかも分かりませんし、1学年4学級が2学年になるときもあるようですので、補助金を申請するときには、きちんと状況を精査をして対応していきたいと思います。教育長としては、学校の分離も考えたいところもありますが、これには多額の費用がかかりますし困難だろうと思いますし、また、羽合小は少し凝った建物となっていますので、どの場所に増築をすればいいのかも悩ましいところです。</p>
藏本委員 教育長	<p>現在、羽合と泊の児童を合わせると約600人ですよね。学校教育の専門家からみた場合、300人くらいの学校が2校あるのが理想なのか、それとも600人でもいいのか、いかがでしょうか。</p> <p>国が示している基準は、各学年クラス替えなどができるよう最低2クラスは必要となっていて、上限まではちょっと把握しておりませんが、このような基準が示されています。ただ、当然、地域の実情もありますので、柔軟に対応してもらいたいという基準もあります。羽合小は、国の基準と比べて大規模かと言えばそうではなく、例えば都会の学校ですと1,000人を超える学校はたくさんあります。ただ、鳥取県内ですと小学校としては7番目、中部地区では一番大きな学校ということになります。ちなみに湯梨浜中も中部地区では一番大きな学校になり、東郷小は県内で真ん中あたり、泊小は東伯郡内では一番児童数が少ない小規模な学校となります。また、特定地域選択制を利用され羽合小校区から泊小へ通学されている児童もいます。こちらについては今年度は12人でしたが、今後希望する児童が増えてきたら、送迎バスをどうしていくかといった問題が出てき</p>

発言者	内 容
藏本委員	<p>ます。ちなみに来年度の希望者は、今年の12月いっぱいが申込期限ですので、そこで人数が確定します。</p> <p>将来のことは誰も分からないのですが、例えば、まるごうから羽合消防署まで続く道ができましたよね。私はいくらでも家が建つような気がしていて、今は令和6年の話になっていますが、それ以降も増えると思っています。人が増えたから増築ではなく、もっと抜本的なことを考えないといけないと思います。田後のコカ・コーラの前のところにも団地ができていて、そこに子どもさんがおられるかどうかは分かりませんが、だいたい家を建てられる方の傾向としては、子どもがおられる方が多いのかなと思います。また、学校だけでなく、こども園も含めての話にもなりますが、例えば思い切って学校を二つ造るとか校区を見直すとか、極端な話かもしれませんが、こういったことも考えていかなければならないかと思っています。その都度で対応していくのではなく、今の本町のいびつな人口構成にどう対応していくかを考えなければならぬと思います。まだまだ羽合地区は、人口が増えるような気がしています。</p>
教育長	<p>羽合小には体育館が1つしかないため、なかなか学級単位で体育の授業を回すということができなく、学年合同で行っているといったような状況もあります。それと校区を廃止し、子どもたちが行きたい学校を選択するといった考え方もありますが、やはり地元の学校といった感覚があると思います。</p>
藏本委員	<p>昔は地元意識というのがありましたが、今はこれだけたくさん家が建って、地元の学校といったような意識は、昔ほどないように思います。</p>
市橋委員	<p>私は、あると思います。確かに新しく団地ができていますが、地元の学校だという意識を作るのも、学校の使命だと思います。</p>
藏本委員	<p>全くその通りで、そういう学校づくりをしていかないといけないと思います。ただ、あまりにも羽合地区はマンモスになってしまい、特に長瀬、田後はいろんな方々が転入されているので、だからこそ学校は地元の学校だという意識を育てていかなければなりません。ただ一方で、その都度増築といったようなハード面の整備をしていくだけでいいのかと思っています。例えば、泊小という良い環境を持った学校があるので、そこを何とかできないかという気持ちがあります。おそらくまた羽合小は、増築といった話が出てくると思います。もっと先のこととか、今の人口構成のことを考えていただきたいと思っています。</p>
青木委員	<p>今はどんどんと増えていくでしょうが、いずれはまた下がっていきますよね。そうすると、新しく建物を建てた方がいいが空き教室になってしまいますので、今、空いている施設を活用してはどうでしょうか。例えば、湯梨浜町は中学校は一つなので、小学校はスクールバスを巡回してもらってどこでもいいよと</p>

発言者	内 容
松田委員	<p>か、そういった方がまだお金がかからないのかなと思います。校区の見直しをした方がいいと思います。建物を建てたら残ってしまいますし、学校に見合った校区に見直すとか、路線バスとかスクールバスで対応した方がいいと思います。</p>
青木委員 岸田指導主事	<p>レークタウンのところも増えていますよね。 今年、湯梨浜で生まれた子どもまでの推計ですが、羽合小は令和6年をピークに減っていき、泊小は70から80人くらいになり、東郷小も単学級になる見込みです。ただ、今後家が建ったりといったことまでは分からないので、なかなか正確な推計をとというのは難しいところです。</p>
教育長 岸田指導主事	<p>東郷小は、レークタウンにどのくらい子どもさんがおられるかによって、単学級から二学級になるということもあります。それと今後、学級編成の人数がどうなっていくかもあります。今は小学校は35人学級となっていますが、それをもっと少なくした県の基準が出てくるかもしれません。</p>
教育長	<p>私が泊小で校長をしていたときですが、赴任当時は175人で二学級が二学年ありましたが、次の年は150人、その次の年は130人となり単学級となりました。東郷小は、合併したときは340人くらいだったのですが、私が校長で赴任したときは250人くらいだったので、100人近く減ったこととなります。また、赤碕中に赴任していたときですが、琴浦の当時の教育長さんが言われていたのは、やはり学校がなくなると地域が寂れるので、少人数になっても維持したいとのことで、全ての小学校の建て替えを行われました。しかし、藏本委員さんが言われるように、そのために何億もかけるのか、校区の見直しなどもせずに維持するのかといったようなところは、意見が分かれるところです。学校規模の大小によって、それぞれの良さもあれば悩みもありますし、いろいろな考えやご意見があると思いますので、今回の総合教育会議で議題として提起したいと思います。すぐには結論が出ないとは思いますが、これからの課題として教育委員会で協議、または有識者を交えた特別委員会のような形で対応していくことになるかもしれません。</p>
藏本委員 教育長	<p>学校だけでなく、放課後児童クラブも同様です。 いろんなところに影響が出てくると思います。総合教育会議では、皆さんからいろんなご意見を出していただければと思います。</p>
教総課長 松本指導主事 教育長 松田委員	<p>続いて、②本町在住の医療的ケア児に係る看護師の配置についてお願いします。 (資料にもとづき、②本町在住の医療的ケア児に係る看護師の配置について説明) 何か質問はありますか。 保護者の方が地元の学校を希望されるのは、どういった理由</p>

発言者	内 容
教総課長	からでしょうか。 地域の子どもたちと一緒に過ごさせてやりたいという保護者の強い思いがあると伺っています。
松田委員	学校でできることとできないことを明確にされた方がいいと思いますし、看護師も交代や休みも必要ですので最低2人は必要と思いますが、もしこの児童が入院となったときはどうなるでしょうか。
教総課長	確かに非常に不安定な雇用形態になります。学校の児童・生徒支援員などについては、募集時に夏休みなど長期休暇中は勤務がない条件で募集をしますが、入院など急な場合はどうするのか、また、看護師が足りていない状況もありますので、このような条件で応募があるのかということも心配されます。
松田委員	第一線で働いていた経験のある看護師でないと対応できないと思います。基本的に看護師は医師からの指示を受けて動くのですが、老人施設とか、今回のこのようなケースの場合は、自分で判断して動かなければなりません。看護師の免許を持っているだけで雇用するというのは、どうなのかなと思います。
教総課長	私も社会福祉協議会に勤めていましたが、学校を卒業した新人の看護師さんや個人病院の看護師さんでは経験が少なく、なかなか一人で動いてというわけにもいかないので、ベテランの看護師さんと組んで勉強しながら勤務してもらおうようにしていました。今回は、できれば小児科のケア経験がある方が望ましいのですが、なかなか難しいと思います。また、保護者の方には、養護学校と地元の学校で実際に体験していただいています。
松本指導主事	保護者の思っていたことと実際とが大きくずれていると、ご本人も学校も困られますので、実際に体験入学をしていただいて、入学後のイメージを持っていただきました。朝の生活、教育課程、医療的ケア、送迎など20程度の項目を立てて、それぞれできることとできないことの確認を行いました。医療面については、どのような看護師さんが来られるか分からないこと、教育面については、地元の学校では医療的ケア児の受け入れた経験がないので、保護者が思い描いているような姿にはならないこともある、といったようなことを説明しています。これらのことを承知していただいた上で、保護者としては地元の学校に入学をさせたいとのことでした。
松田委員	そのあたりのことをきちんと確認されるとともに、緊急時のフローチャートなども整理しておいてください。それと医療的ケア児の方が卒業されたら、その部屋はどうなるのでしょうか。
教総課長	給排水設備がありますが、それほど場所を取っているわけでもありませんし、カーテンもレールを外せば転用ができると思います。

発言者	内 容
藏本委員	<p>以前、NHKで医療的ケア児の特集番組があり、看護師がいないという問題がありました。取り上げられたところは大きな市だったのですが、訪問看護ステーションのような拠点を置いて看護師を派遣する、といったような仕組みを取られていました。やはりずっと学校に看護師を常駐させるというのは難しいと思いますし、また、これは教育委員会だけでなく町全体の看護師事業の中で考えられて、看護師を派遣するといった仕組みがあってもよいと思います。</p>
松田委員	<p>訪問看護事業を利用することはできないでしょうか。</p>
松本指導主事	<p>福祉部門に確認しましたが、在宅でないとできないようです。</p>
青木委員	<p>学校では、どのような教育が行われるのでしょうか。</p>
松本指導主事	<p>児童の体のほぐしとか揺らしとか、主として体の感覚に働きかけを行った自立活動になると思います。今、各養護学校から同じような症状を持つ児童の教育課程の事例を取り寄せていて、それを参考にしながら検討をしているところです。</p>
青木委員	<p>国が医療的ケア児の法律を制定されたのであれば、何らかの補助制度があってもいいと思いますね。</p>
教総課長	<p>財源的な措置がある法律ではないので、なかなか対応が難しいです。</p>
教育長	<p>県には、このような経験のある教職員の配置を強く要望したいと考えています。</p>
尾川参事	<p>それでは次に③今後の文化財行政についてお願いします。</p>
教育長	<p>(資料にもとづき、今後の文化財行政について説明)</p>
市橋委員	<p>何か質問はありますか。</p>
市橋委員	<p>文化財保存活用地域計画を作成されるのは良いことですが、これらを一度にやるということは大変だと思います。全部を計画してからやるのではなく、例えば、野花の梅林を見られた後に北山古墳も一緒にどうですかといったような看板を立てられるとか、少しずつ早めに行けるものからやった方がいいと思います。</p>
青木委員	<p>先日、NHKで全国のお城を取り上げた特集があり、鳥取城が紹介されていました。本町にも城がありますし、これから城の関係で来られる方が増えるかもしれませんね。</p>
尾川参事	<p>実は、もうかなり来られているようでして、昨日、羽衣石城に行ったときにも県外の車が停まっていたし、文化財を巡回される方からの報告でも、以前より人の往来が多くなっていると聞いています。国史跡となって全国に広く知れ渡るようになれば、もっと来訪者が増えると思います。</p>
青木委員	<p>随分前に羽衣石のそば打ち体験がありましたが、羽衣石城に行き帰るだけでなく、何か体験できるような施設があったら面白いなと思いますね。</p>
尾川参事	<p>高齢者の生きがいがいづくりにもつながればいいですね。</p>

発言者	内 容
教育長	それでは、次に④ワールドマスタースゲームズ 2021 についてお願いします。
池田参事	(資料にもとづき、ワールドマスタースゲームズ 2021 について説明)
教育長	何か質問はありますか。 (なし)
蔵本委員	それでは、この4項目を議題として提案したいと思いますが、よろしいですか。
教育長	すいません。以前からお話している地区公民館の在り方の件についてですが、今、本町には地区公民館はありませんが、鳥取、米子、倉吉、八頭町など、地区公民館という呼び名は別として、以前あった町内の地区公民館的なものを核として、福祉であったり防災であったり、そういった地域づくりの核というか拠点というか、いろんな取組がなされていると思います。昔の地区公民館までとはなりません、公民館活動も含めて、何とか地域づくりの核になるようなことができないのかなと思います。このあたりのことを町長に聞いてみたいと思っていて、その場で結論が出るような話ではないと思いますが、取り上げていただけるとありがたいです。
中央公民館長	分かりました。地域づくりの拠点といった施設なり仕組みが必要ということですが、いかがでしょうか。
教総課長	総合教育会議では提案という形にはならないとは思いますが、県内の地区公や地域コミュニティセンターといった取組をされている先進事例の情報などをまとめてみたいと思います。
教育長	今年、倉吉市が自治公民館を地域コミュニティセンターとして、地域課題の解決に向けて一体的にやっている事例がありますね。
教育長	そういった事例を紹介し、町長と皆さんで協議をしながら進めていくといった形でよろしいでしょうか。
尾崎補佐 教育長	(異議なし)
尾崎補佐 教育長	それでは、総合教育会議ではこの5項目について提案したいと思いますので、よろしくお願いします。
尾崎補佐 教育長	(2) その他で何かありますか。
尾崎補佐 教育長	ありません。
松本指導主事	それでは、日程第6 報告連絡事項に入ります。(1) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果についてお願いします。
松本指導主事	(資料にもとづき、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について説明)
教育長	小学校でも中学校でも、「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか」という設問に対し、本町では全国平均、県平均ともかなり低い結果となっています。これをどう捉えるかですが、皆さんはいかが思われますか。

発言者	内 容
岸田指導主事	これを良い悪いではなく、子どもたちの学習習慣や勉強環境を理解する一つの資料ということではないでしょうか。
市橋委員	私も現職のときは、保護者の方から塾に行かせた方がいいでしょうかとよく聞かれまして、塾に行った方がいいとは言えませんが、自分でしっかりと勉強していけばいいですよと答えました。子どもが自発的になのか、または親に言われてなのか、そういった子どもの意識もあります。本来は、きちんと学校で勉強すれば十分だと、学校で言うことが理解できればいいよというふうに捉えたいと思います。
藏本委員	教育長が心配されているのは、保護者が放任していないかという意味でしょうか。
教育長	この項目は全国平均と比べて10ポイント以上の差があります。本人が塾に行きたいと言って、経済的に余裕があれば止めるものでもありませんし、本人が塾に行きたくないのであれば、無理に行かせるものでもないと思いますし、この質問をどのように解釈すればよいのか、よく分かりません。
青木委員	湯梨浜の学校の先生方の教え方がいいので、塾に行かなくてもいいですよとして捉えてはどうでしょうか。私も子どもが中学生のときですが、先生から学校の授業をちゃんと受けていれば塾などに行かなくてもいいと仰っていましたね。
岸田指導主事	同じような経済圏や、中部地区の他の自治体の数値があれば比較はできますが、本町の数値だけを見て議論するのは難しいと思います。
教育長	他の質問を見ると、肯定的な評価が高い方が望ましいというのは分かるのですが、この質問だけは意図するところがよく分からないんですよ。
青木委員	全国平均よりは低いですが、県平均とはあまり変わっていませんので、やはり湯梨浜の先生方の教え方がいいのではないですか。
藏本委員	ひよっとするとですが、昔に比べてスポ少の加入率も低いでしょうが、そういったことは関係ありませんか。
教育長	以前の調査では、部活動に入っていますかといった質問がありましたが、そのときは、本町の子どもたちは全国平均よりも高かったですね。
岸田指導主事	都会では、学校の部活動ではなく、クラブチームの方に入りますね。
教育長	私自身しっくりこないところがありまして、ご意見をお伺いさせていただきました。この他に何か質問はありますか。 (なし)
教総課長	それでは、(2) 旧東郷中学校・東郷学校給食センターの物品販売会についてお願いします (資料にもとづき、旧東郷中学校・東郷学校給食センターの物

発言者	内 容
教育長	品販売会について説明) 何か質問はありますか。 (なし) それでは、(3) 旧北浜中学校校舎等解体工事についてお願い します
尾崎補佐 教育長	(資料にもとづき、旧北浜中学校校舎等解体工事について説明) 何か質問はありますか。 (なし) それでは、(4) 泊分館建設事業についてお願いします
中央公民館長 教育長	(資料にもとづき、泊分館建設事業について説明) 何か質問はありますか。 (なし) それでは(5) 公民館事業についてお願いします。
中央公民館長 教育長 池田参事 教育長	(チラシにもとづき、公民館事業について説明) 続いて、(6) 図書館事業についてお願いします。 (資料にもとづき、図書館事業について説明) 何か質問はありますか。 (なし)
池田参事 尾崎補佐	次の(7) 問題行動・不登校については、後で説明をお願いし ます。 (8) その他で何かありますか。 (資料にもとづき、湯梨浜町人権教育推進大会について説明) (教育委員会の組織図の更新について説明)
	(次回、定例会を10月27日(水)午後1時30分に開催すること を決定。引き続き委員のみで、日程第6 報告連絡事項(7) 問題 行動・不登校について説明があった。) 午後4時30分終了